

(様式 1-3)

いわき市定住緊急支援事業計画に基づく事業等個票

平成 27 年 2 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	4	事業名	公園等遊具更新事業	事業番号	A-1-4
交付団体		いわき市	事業実施主体		いわき市
総交付対象事業費		123,466 (千円)	全体事業費		123,466 (千円)
事業概要					
<p>いわき市フラワーセンター及び吹松公園ほか12 公園について、以下のとおり遊具の更新を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・ いわき市フラワセンター内にある既存のブランコ1 基、シーソー1 基、複合遊具1 基、ターザンロープ1 基、砂場1 基を更新する。・ 吹松公園内にある既存の複合遊具1 基、鉄棒1 基、リンク4 基を更新する。・ 矢田川公園内にある既存のすべり台1 基を更新する。・ 横町公園内にある既存のすべり台1 基、ブランコ1 基、スプリング遊具1 基を更新する。・ 館下公園内にある既存のすべり台1 基を更新する。・ 平窪公園内にある既存のぶらんこ1 基、複合遊具1 基、スプリング遊具3 基を更新する。・ 平南台中央公園内にある既存の複合遊具1 基、シーソー1 基、砂場1 基を更新する。・ 久世原公園内にある既存の複合遊具1 基を更新する。・ 洋向台中央公園内にある既存の複合遊具1 基を更新する。・ 岡小名公園内にある既存の複合遊具1 基、ブランコ1 基、鉄棒1 基、ジャングルジム1 基、ロープウェイ1 基を更新する。・ 中迎二丁目公園内にある既存の複合遊具1 基、すべり台1 基を更新する。・ ひがし公園内にある既存の複合遊具1 基、シーソー1 基を更新する。・ 上湯長谷公園内にある既存の複合遊具1 基、すべり台1 基を更新する。・ 丸山公園内にある既存の複合遊具2 基、すべり台1基、スプリング遊具3 基、登り棒1 基、タイヤトンネル1 基、ロープネット1 基を更新する。 <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p> <ul style="list-style-type: none">・ 新いわき市子育て支援計画（後期行動計画）・ 新・いわき市総合計画基本計画					
人口の流出及びそれにより生じている地域の復興における支障との関係					
<p>1. 人口が流出し、地域の復興がいかに妨げられているか。</p> <p>○ 原子力災害前後で、市の人口の 2. 25%にあたる 7, 711 人が市外に避難した結果、児童生徒数などに影響を及ぼしている。</p> <p>【H22 国勢調査結果】 342, 249 人</p> <p>【24 年 10 月時点の避難者数（全国避難者情報システム）】</p> <p>平成 23 年 3 月 11 日にいわき市に住んでいた者で、東日本大震災及び原子力発電所事故に伴い市外に避難している人数は、平成 24 年 10 月 1 日現在、7, 711 人となっている。</p> <p>【児童生徒数の減少】</p> <p>いわき市の小中学校の児童・生徒数について、平成 22 年 5 月 1 日と平成 24 年 5 月 1 日を比較すると、小学生で 2, 026 人、中学生で 470 人が減少している。</p> <p>2. 子どもたちが十分に運動し、体力と運動能力を養う機会を確保することに関与するか。</p> <p>【子どもの体力低下】</p> <p>いわき市の小学生の体力・運動能力調査結果について、平成 24 年度平均値を震災前の平成 22 年度平均値と比較すると、1 学年～4 学年では、ほとんどの学年及び種目において平成 22 年度平均値を下回っており、5・6 学年男子及び 6 学年女子についても、50m 走以外は平成 22 年度の平均値を下回っている。また、中学生については、1・2 学年男子及び 1 学年女子は、9 種目のうち半数以上で平成 22 年度平均値を下回っている。（「体力・運動能力調査結果／市教育委員会」）</p> <p>【子どもの肥満傾向】</p> <p>いわき市の小中学生の平均体重について、平成 24 年度の平均体重を震災前の平成 22 年度と比較</p>					

すると、男子は小学校2学年から中学校2学年までのいずれの学年でも増加しており、また、女子についても小学校3・5・6学年、中学校3学年で増加している。（「学校保健統計調査結果／市教育委員会」）

☆事業実施による改善の見込み

運動施設を整備することによって、地域の子どもたちが快適に遊んだり運動したりする環境が整い、運動意欲の増進・運動習慣の定着に寄与すると考えられる。

【施設整備の効率性】

市内の公園462箇所の内、公園の規模・地域のバランス等を考慮した結果、13公園及びいわき市フラワーセンターを対象としており、整備箇所数としては適切である。

【施設の維持管理等の方針】

他の公園と一括して指定管理者が管理運営するものであり、既存の職員が月に一度の安全点検を実施するため最小限の経費で管理運営できる。

【広域の住民による活用】

誘致距離が大きく広域での利用が図られている近隣公園等（面積2ha以上）及び、地域の拠点として利用頻度が高い規模が大きい公園（面積0.5ha以上）が対象であり、遊具の更新により、放射能の不安から外遊びを控えていた子どもを公園に呼び戻す効果が期待でき、より広域的な利用が想定される。

【効果把握のためのモニタリング方針】

利用者アンケートにより行う予定。

【ソフト事業との相乗効果】

基幹事業において整備した施設における運動の効果を一層向上させる取組として、地域の子育て支援団体等と連携したイベント等を定期的に開催する。

※効果促進事業である既存の場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

いわき市定住緊急支援事業計画に基づく事業等個票

平成 27 年 2 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	11	事業名	私立幼稚園遊具更新事業	事業番号	A-1-6
交付団体	いわき市		事業実施主体	いわき市	
総交付対象事業費	215,925 (千円)		全体事業費	215,925 (千円)	
事業概要					
○事業の概要					
清風幼稚園ほか 34 園について、以下のとおり遊具の更新を行う。					
・ 清風幼稚園内にある既存の複合遊具 1 基、滑り台 1 基を更新する。					
・ 平幼稚園内にある既存のジャングルジム 1 基、滑り台 1 基、登はん棒 1 基を更新する。					
・ 平第一幼稚園内にある既存の複合遊具 4 基、砂場整理BOX1 基を更新する。					
・ 平第二幼稚園内にある既存の複合遊具 3 基を更新する。					
・ 九品寺附属幼稚園内にある既存のブランコ 1 基、ターザンロープ 1 基、雲梯 1 基、丸太登り 1 基、滑り台 1 基を更新する。					
・ 九品寺附属平窪幼稚園内にある既存の滑り台 1 基、複合遊具 1 基を更新する。					
・ いわき幼稚園内にある既存の乗り物置き物 1 基、複合遊具 1 基、ブランコ 1 基を更新する。					
・ 白ばら幼稚園内にある既存の乗り物置き物 1 基、動物置き物 1 基を更新する。					
・ ありす幼稚園内にある既存の複合遊具 1 基を更新する。					
・ あかい幼稚園内にある既存の複合遊具 2 基、ブランコ 1 基を更新する。					
・ 小川幼稚園内にある既存の複合遊具 1 基、ブランコ 1 基を更新する。					
・ 神谷幼稚園内にある既存のジャングルジム 1 基、ブランコ 1 基、鉄棒 1 基、滑り台 2 基を更新する。					
・ いわき短大附属幼稚園内にある既存の複合遊具 2 基、鉄棒 1 基、滑り台 1 基、動物置き物 2 基を更新する。					
・ はるな幼稚園内にある既存の複合遊具 1 基、太鼓橋 1 基、滑り台 1 基を更新する。					
・ 明德館幼稚園内にある既存の複合遊具 1 基、マッシュルームハウス 2 基、登はん棒 1 基を更新する。					
・ まこと幼稚園内にある既存の複合遊具 1 基を更新する。					
・ 遠野町まこと幼稚園内にある既存の複合遊具 1 基を更新する。					
・ 入遠野まこと幼稚園内にある既存の複合遊具 2 基、木製吊り橋 1 基、木製ロープ登り 1 基、木製垂直ネット 1 基、木製はしご登り 1 基を更新する。					
・ さかえ幼稚園内にある既存の砂場枠 1 基、複合遊具 1 基、登はん棒 1 基、雲梯 1 基、鉄棒 1 基、ジャングルジム 1 基を更新する。					
・ 金谷幼稚園内にある既存のブランコ 1 基を更新する。					
・ わかぎ幼稚園内にある既存の複合遊具 1 基、ブランコ 2 基を更新する。					
・ 船戸幼稚園内にある既存の滑り台 1 基、乗り物置き物 1 基、鉄棒 1 基を更新する。					
・ かしま幼稚園内にある既存の複合遊具 2 基、ロープウェー 1 基を更新する。					
・ 泉幼稚園内にある既存の登はん棒 1 基、複合遊具 4 基、ハウス 1 基、鉄棒 1 基を更新する。					
・ 錦星幼稚園内にある既存の乗り物置き物 1 基、クライミング遊具 2 基を更新する。					
・ ほうとく幼稚園内にある既存の複合遊具 1 基を更新する。					
・ 勿来幼稚園内にある既存の複合遊具 1 基を更新する。					
・ 勿来リズム学園幼稚園内にある既存の複合遊具 1 基を更新する。					
・ 千鳥幼稚園内にある既存の滑り台 1 基、複合遊具 1 基を更新する。					
・ 寿幼稚園内にある既存の複合遊具 3 基、滑り台 1 基、鉄棒 1 基を更新する。					
・ 郷ヶ丘幼稚園内にある既存の鉄棒 1 基、登はん棒 1 基を更新する。					
・ 小名浜白百合幼稚園内にある既存の雲梯 1 基、複合遊具 1 基、リングトンネル 1 基、ブランコ 1 基を更新する。					
・ 聖テモテ幼稚園内にある既存の鉄棒 1 基を更新する。					
・ 勿来カトリック幼稚園内にある既存の複合遊具 1 基を更新する。					

- ・ あざみ野幼稚園内にある既存の滑り台1基、ブランコ1基を更新する。

○定住緊急支援事業計画とまちづくり計画等との整合性（制度要綱第5の4の一）

【新・いわき市子育て支援計画 後期行動計画】

- ・「子どもを取り巻く社会情勢の変化に対応し、子どもを持ちたい人が産み育てやすい社会の構築を図り、子どもたちが健やかに生まれ育つため、また、子どもの幸せを第一に考え、子どもの利益が最大限に尊重されるよう配慮しながら、総合的な子育て環境の整備を図ることを目的としています。」
（8ページ）
- ・地域の子育て家庭に身近な遊び場を提供するため、保育所や幼稚園の園庭開放を推進します。
（68・93ページ）

人口の流出及びそれにより生じている地域の復興における支障との関係

○原子力発電所の事故以前と比較した人口の流出の状況及びそれにより生じている地域の復興における支障（制度要綱第5の1）

原子力災害前後で、市の人口の2.25%にあたる7,711人が市外に避難した結果、購買力の低下、労働力の低下など社会経済活動に影響を及ぼしている。

《H22国勢調査結果》342,249人

《24年10月時点の避難者数（全国避難者情報システム）》

平成23年3月11日にいわき市に住んでいた者で、東日本大震災及び原子力発電所事故に伴い市外に避難している人数は、平成24年10月1日現在、7,711人となっている。

【子どもの運動機会の確保のための事業】

○事業実施の必要性（制度要綱第5の1）

放射線に対する不安が消えることはなく、既存の遊具を使用することに抵抗を感じている児童及び保護者がいることから、遊具を更新することにより不安を払拭し、快適に遊んだり運動したりできる環境を整える必要がある。

○震災前に比較して子どもの運動機会の確保が十分に図られていないこと（制度要綱第5の4の二①）

《子どもの体力低下》

いわき市の6歳児の体力・運動能力調査結果について、平成24年度平均値を震災前の平成22年度平均値と比較すると、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げにおいて、平成22年度平均値を下回っている。（平成24年度 体力・運動能力調査結果／市教育委員会）

《子どもの肥満傾向》

幼稚園と同様に、就学前児童の対象施設である、いわき市内の規模の大きい保育所5施設を対象に実施した調査結果によると、平成24年度の5歳児の肥満児出現率（9.1%）は震災前の平成22年度（5.1%）と比較すると4.0%上昇しており、肥満の傾向が見られる。

○地方公共団体における既存の運動施設が不足していること（制度要綱第5の4の二①）

遊具の除染が行われており、空間線量率は基準値を下回っているものの、放射線に対する不安が消えることはなく、子どもに外遊びを控えさせる保護者がいることから、子どもの運動機会が減少している傾向が見られる。

○既存の施設を更新又は改築することによらなければ運動機会の確保を十分に図ることができないこと（制度要綱第5の4の二①）

学校施設等を優先して除染しており、園児が日中の大半の時間を幼稚園で過ごしていることから、既存の遊具を更新し、運動機会の確保を図る必要がある。

○施設等の整備の内容及び方法が事業の目的に照らして適切であり、効率的なものとなっていること（制度要綱第5の4の二①）

- ・子どもと整備実施箇所の関係は以下のとおり。

平成 25 年 5 月 1 日現在の各幼稚園の園児数について

清風幼稚園 40 名、平幼稚園 56 名、平第一幼稚園 182 名、平第二幼稚園 190 名、九品寺附属幼稚園 121 名、九品寺附属平窪幼稚園 56 名、いわき幼稚園 217 名、白ばら幼稚園 141 名、ありす幼稚園 117 名、あかい幼稚園 127 名、小川幼稚園 72 名、神谷幼稚園 143 名、いわき短大附属幼稚園 122 名、はるな幼稚園 72 名、明德館幼稚園 225 名、まこと幼稚園 149 名、遠野町まこと幼稚園 31 名、入遠野まこと幼稚園 15 名、さかえ幼稚園 85 名、金谷幼稚園 72 名、わかぎ幼稚園 100 名、船戸幼稚園 213 名、かしま幼稚園 173 名、泉幼稚園 296 名、錦星幼稚園 156 名、ほうとく幼稚園 68 名、勿来幼稚園 231 名、勿来リズム学園幼稚園 78 名、千鳥幼稚園 13 名、寿幼稚園 94 名、郷ヶ丘幼稚園 112 名、小名浜白百合幼稚園 143 名、聖テモテ幼稚園 31 名、勿来カトリック幼稚園 60 名、あざみ野幼稚園 38 名。

・維持管理や運営に必要な予算や人員の確保については、各幼稚園において対応できる見通しである。

○地方公共団体の広域の住民による活用が図られるよう計画されていること（制度要綱第 5 の 4 の二②）

- ・基本的に徒歩でのアクセスが可能であり、また、駐車場が確保されていることから、自家用車で親子で来園することも可能である。
- ・別紙の開放予定表のとおり、地域への開放を行う。また、開放予定表を市のホームページに掲載するなどして周知する。

○整備を予定している施設における運動の効果を一層向上させるためのソフト的な取組（制度要綱第 5 の 4 の二③）

基幹事業において整備した施設における運動の効果を一層向上させる取組として、日常的には幼稚園教諭による更新した遊具を活用した遊びの指導を実施する。また、年に数回程度、外部のインストラクター等を活用したイベント等を開催し、園児に体を動かす楽しさを教えるとともに、幼稚園教諭に対する講習を併せて行う。

○効果の検証方法

遊具更新に関する保護者へのアンケートや、体力測定データの分析等を通じて、事業効果の検証を行っていく。

※効果促進事業である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	